



# きょうされん第41回 全国大会 in 京都

きょうされん全国大会 in 京都が2018年9月21日(金)～9月22日(土)に京都国際会館にて開催されました。9月21日(金)に仲間41名 職員15名 ボランティア1名で参加しました。

市バスと地下鉄を利用し、会場に向かいました。想定していたよりも混雑しておらず、大きな混乱もなく会場に着くことが出来ました。オープニングセレモニーでは大会テーマソング「みんないっしょ ずっといっしょ」の合唱や太鼓演奏などがありました。会場の前のロビーではたくさんの作業所の自主製品が販売されていました。昼食を食べた後、班ごとに国際会館内を散策したり、販売されている商品をお土産に購入したりして過ごしました。

お昼からはケロポンズのステージを鑑賞する班と着物着付け体験に参加する班に分かれました。

着物の着付け体験では、女性はヘアメイクをして頂いた後、自分で着たい着物の柄を選び着付けてもらいました。ヘアメイクをしてもらっている間の女性たちは最初は緊張した面持ちでしたが、徐々に目がキラキラと輝いて、どんな風になるのかなと期待されているのが伝わってきました。

男性たちはリストの中から着たい着物を選び着付けてもらいました。着物を着た後は表情も引き締まり、立ち姿もとても恰好よくなっていました。

着付けてもらった後、全員で記念撮影をしました。休憩している間、庭に出ていると一般のお客様から「綺麗ね。」と声をかけてもらい、とても嬉しそうでした。

着付け体験をしたなかまの中から7名が大交流会のファッションショーに出演しました。インタビューや歩き方のリハーサルをした後、お弁当を食べました。女性は途中帯が苦しくなったりしましたが、すぐに着付けの先生方が直して下さり、落ち着いて本番ま

一九九六年五月一日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

一九九六年五月一日

第三種郵便物承認

毎月(一・二・三・四・五・六・七・八の日)発行

頒価50円 会費に購読料を含む

## らぁ祭

8月22日一般社団法人「らぁ祭」様より出張らぁ祭に来ていただきました!! 当日は4名の方が来所され、ラーメンを作って下さいました。前回の出張らぁ祭を覚えていた仲間からは「あの人はくるのかな?」「どんなラーメンかな?」と前日から楽しみにされていました。作っていただいたラーメンは西院作業所のまごころ味噌を使用した『味噌カレーラーメン』。本当に美味しく、仲間も職員も大満足でした。作業所から感謝の気持ちを込めてふきんやお味噌をお渡ししました。仲間からは「また食べたいな」「お店に行ってみたいな」などの感想を聞きました。美味しいラーメンを御馳走いただきありがとうございました!! (今)



### 物品販売実行委員会より

夏物品にご協力いただきありがとうございました。

11月1日より冬の物品販売の取り組みを行います。作業所一押しの商品やカレンダーなどがあります。ご協力願致します。

### ボランティア

進士 保様 内田恵子様  
堀 登志美様 坂和満理子様  
小島 恵子様

### ご寄付ありがとうございます

河本 ふで子様(「ふ」は旧字体)  
丸清 木材 松尾様 財木屋様  
内田 恵子様 Daigasグループ様  
松尾清三様 西院第二学区自治連合会様  
内山燃料興業株式会社

### 編集後記

今年の夏の暑さは異常でした。台風や大雨などの自然災害も多かったですね。秋になり肌寒く感じる日も多くなってきました。風邪をひきやすい季節なので気を付けなければいけませんね。

発行人/関西障害者定期刊行物協会 〒543-0051 大阪市天王寺区真田山町 2-2 東興ビル 4階  
編集人/みやこグループ後援会 〒615-0031 京都市右京区西院高田町 20  
TEL 075-321-8880 FAX 075-321-5588 ホームページ http://miyako-sai.in.or.jp



連載第 129 回

北から南から  
こんにちは！

今回は



塚田 寛人さん (元学生ボランティア) から

日本全国津々浦々、果ては世界にお住いのみやこに携わっていただいた方から届いたお便りです。

ご無沙汰しております。

サークルたんぼぼOBの塚田寛人と申します。早いもので卒業して3年半が過ぎました。卒業後に一度参加して以来、全く顔を出せておりません。後輩たちが年に一度送付して下さる通信で皆さんの様子を知りつつ、時に安心し、時に心配しております。

これまで名だたる先輩方の書いてきたであろうこちらのページに私が寄稿してよいのか、(寄稿する以前に「まつり」を手伝いに来いと言われれば、いやはや全くその通りなのですが)悩みながらも筆を執らせていただきます。

私の大学生活はサークルたんぼぼを抜きに語ることはできません。大学2年生のころは、気づけは毎日のように会議、下見、レクリエーションの小道具の試作、会議、下見(たまに?飲み会)・・・と、どこにそんな体力があったのかと、今の自分の腹囲からは想像できないほど、たんぼぼ中心に日々が回っていました。「如何に第三日曜日の朝9時から午後4時までの時間を、仲間30人、ボラ30人と過ごすか。」そればかり考え、先輩、動機、後輩と議論していました。本当に細かい点まで議論していました。皆でボウリングをするだけなのに、「どんな順番で投げるのか」、「一投目を仲間の方が、2投目をボランティアが投げて合計で競うか?」「それとも個人戦か」「チーム戦にするか?」「何ゲームやるのか?」「個人を表彰するのか?」「順位を発表するのか?」etc・・・。いったい何故そこまで議論する必要があるのか、端から見たらおかしかったかもしれません。自分でも「もういいんじゃないか」と議論を放棄し思考停止したくなることもありましたが、それでも私は、月一回、7時間と約60人という限られた中、みんなでいかに楽しめるかという1点をとことん考えることができ、そしてそこまで考えたにもかかわらず想定外のプラスアルファ(ボウリング企画では、仲間の方の一人がターキーを繰り出し場が盛り上がる)が生まれてくる本番当日の一日が大好きだったのです。

現在、私は途上国の国々の発展をお手伝いする仕事をしています。パレスチナやヨルダン、イラクといった国々の政府の方々と共に、その国の開発のための事業をお手伝いしてきました。学生時代には想像もつかなかった金額を扱い、大規模なインフラ案件を担当することもあります。政府相手の仕事ゆえに、がんじがらめの制度と、膨大な業務量と、限られた時間の中で、自分の能力不足も加わって、限られた資源を用いて「いかに良い事業を実施するか」という本質的な議論は後回しにしてしまいがちで、悔しく思うこともあります。そんなとき、細かいところまでとことん議論し、実行していた学生時代の自分が、今の自分に向かって、「もっと頑張れ」と奮い立たせてくれます。

後輩たちにも、ぜひぜひ好きだけ議論し、とことんやってもらいたいと思っております。最後に、サークルたんぼぼの活動が、作業所の皆様のご支援の下、笑顔の絶えないまま続いていくことを祈りつつ(どこかでお手伝いには参加したいと宣言しつつ)、筆を置きたいと思っております。ありがとうございました。

サークルたんぼぼOB(8回生相当) 塚田 寛人



で過ごす事が出来ました。本番ではリハーサルの時よりも堂々と女性はおしとやかに、男性は格好よくウォーキングをしていました。

ふだん着ることが出来ない着物を着る事ができ、とても良い体験になりました。(亀村)

壬生の仲間は、チャーターバスで国際会議場へ向かいました。久しぶりのバス移動でみんなはウキウキしているようでした。会場へは早く着いたので、出入り口近くの席を確保して座ることが出来ました。出し物がいろいろとありましたが、静かに見ていました。お楽しみのお弁当も落ち着いてしっかりと食べていました。午後からは待ちに待ったケロポンズのショーの始まりです。会場内は開始時刻とともに、多くの人たちであふれていきました。今までに壬生の仲間たちはケロポンズの音楽をたくさん聞き身体を動かして楽しんできました。そして今、実物のケロポンズと出会い喜びも最高になりました。歌にダンスに体をいっぱい動かし、素敵な一日となりました。

(赤田)

私が想像していたよりもはるかに大きな規模でスタートした初日を、仲間たちと楽しく素敵な時間を無事に過ごす事が出来ました。

2日目は、要員として参加させてもらいました。交通整備などの担当がある中で、私はゆるキャラ担当になりました。まさか人生の中でゆるキャラに入るとは思ってもいなかったので、ワクワクした気分で早朝、イベントホールに向かいました。まいこ〜など10体ほどの中で、一休君を選びました。思ったよりは軽かったですが、中はかなり蒸し暑かったです。仲間の皆さんもたくさん握手を求めて来てくれました。

とにかく初めてづくしの全国大会の2日間でしたが、本当に良い体験が出来ました。又、参加できるよう仲間たちと1日1日、大切に過ごしていきたいと思っております。(濱田)



これから始まるよ～  
たのしみだな～